

2022 年秋の大会における核データ部会企画セッションの提案につきまして

木村 敦 (企画担当、JAEA)

2022/3/16

2022 年秋開催の部会企画セッションに関し、以下の 3 つの企画セッション案を考え検討を進めている。部会員の皆様から忌憚のないご意見を伺いたい。

- 宇宙用の原子力電池や原子炉、地上用の SMR に関する核データ
- 材料損傷と核データにおける研究フロンティア
- 放射性廃棄物核変換のための核データ研究のフロンティア

参考：これまでの実績

2022 年 春の年会 「JENDL-5 の完成と数値解析への適用の展望」 ※炉物理共催

(1) JENDL-5 の概要 (JAEA) 岩本 修

(2) 核分裂収率および共分散データの評価 (JAEA) 千葉 敏

(3) 熱中性子炉体系における JENDL-5 の積分ベンチマーク解析 (東芝 ESS) 吉岡 研一

(4) 高速炉体系における JENDL-5 の積分ベンチマーク解析 (JAEA) 横山 賢治

2021 年 秋の年会 「シグマ」調査専門委員会 2019、2020 年度活動報告

2021 年 春の年会 「先端データサイエンスの核データへの適用」

2020 年 春⇒秋の大会 「核データ部会 20 年間の歩みとこれからの 20 年」

2019 年 春の年会 「核分裂生成物核種の核データ研究のフロンティア」

2018 年 秋の大会 「小型加速器中性子源と核データのニーズ」

2018 年 春の年会 「我が国における核データ計算コード開発の現状と将来ビジョン」

企画担当委員

木村 敦(JAEA)、執行 信寛 (九州大学)、静岡 俊行 (QST)、卞 哲浩 (京都大学)、
北田 孝典 (大阪大学)、明午 伸一郎 (JAEA)、大津 秀暁 (理研)、佐野 忠史 (近畿大学)